

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アルファ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 西田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科	夜・通信	1,343 時間	80×3 = 240 時間	
	柔道整復学科	夜・通信	1,659 時間	80×3 = 240 時間	
福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1,820 時間	80×2 = 160 時間	
	こども保育学科	夜・通信	1,620 時間	80×2 = 160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>学校ホームページにて授業科目一覧を公開している。当該一覧において、教員の実務経験に関する記載欄を設けている。</p> <p><a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/jugyokamokuitiran_R7.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/jugyokamokuitiran_R7.pdf</a></p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アルファ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 西田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページにて理事名簿を公開している。 <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/86fc9fa90da39b8c841a5760d18e9bf6.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/86fc9fa90da39b8c841a5760d18e9bf6.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	経営コンサルタント 会社代表	2022. 7. 1～ 2025. 6. 30	組織運営体制への チェック機能・法務
非常勤	社会福祉法人理事	2023. 7. 1～ 2026. 6. 30	教育内容・学科編成 に対する専門的な 知見
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アルファ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 西田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>&lt;授業計画書の作成について&gt;</p> <p>各授業科目については、毎年度、教育課程編成会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討をおこなった上で、各科目を担当する教員により、シラバスの作成を行っている。</p> <p>学内のシラバス作成の手引きの中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバスの作成を行っている。</p> <p>&lt;授業計画書の公表時期について&gt;</p> <p>翌年度の年間授業計画は12月に各学科長が作成し、学校長の承認により正式に決定する。学生に対しては、初回授業日までに授業計画書(シラバス)を紙または電子データにて開示している。また、新年度開講から一月程で当年度のシラバスをホームページ上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページにて当年度分授業計画書(シラバス)を公開している。</p> <p>鍼灸学科  <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_shinkyu_R7.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_shinkyu_R7.pdf</a></p> <p>柔道整復学科  <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_jusei_R7.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_jusei_R7.pdf</a></p> <p>介護福祉学科  <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_kaigo_R7.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_kaigo_R7.pdf</a></p> <p>こども保育学科  <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_hoiku_R7.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/syllabus_hoiku_R7.pdf</a></p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、履修の認定について規定している。(第16条(成績の評価、課程の修了))尚、履修認定の判断材料となる成績評価については、各学科で定める授業科目の試験(レポート含む)により行っている。

<単位認定の方法>

学則に定める授業時数の3分の2以上(介護福祉学科の介護実習は5分の4以上)出席した者で、学習評価が「可」の成績を収めた者について当該科目を修了したものとみなす。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の方法や指標については、学生便覧や入学時オリエンテーション等で学生へ開示している。また、教職員は得られたデータを学内の学生管理システムにおいて閲覧でき、個別最適化された教育指導に活用している。本校ではGPA制度を導入している。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。

<成績評価の方法>

- ・成績評価は科目ごとに、試験の結果、出席状況等を総合的に判断して行い、方法については、各科目の授業計画表(シラバス)によって学生に明示する。
- ・本学では以下のとおり成績評価を行う。
  - ・各科目のシラバスに記載した方法で、当該科目の評点を算出する。
  - ・成績評価はS・A・B・C・Fの5段階で示す。評価と評点は以下のように対応する。

成績評価	評点	可/不可
S	100～90点	可
A	89～80点	
B	79～70点	
C	69～60点	
F	60点未満	不可

- ・S・A・B・Cを「可」(履修科目として認定する)とし、Fを「不可」(履修科目として認定しない)とする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学校ホームページにて、学修の成果に係る評価について本校方針を示している。

<https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/e17f0d62657e2c2a0a2484aafd152930.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>アルファ医療福祉専門学校は、「教育基本法」に則り、「学校教育法」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」、「柔道整復師法」、「社会福祉士及び介護福祉士法」及び「児童福祉法」等に従って、医療及び福祉事業に携わる者を養成し、専門的な知識及び技能を習得させることを目的とする。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の科目すべてを所定の年次に合格することを定めている。学生へは、同内容を学生便覧等で示している。</p> <p>&lt;卒業要件&gt;</p> <p>次の要件すべてを満たすことが必要となる。</p> <p>(1) 本校に修業年限以上在籍する。</p> <p>(2) 卒業に必要な科目及び単位を修得する。</p> <p>(3) 卒業までに必要な学費の全額を納入する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページにて、卒業の要件について本校方針を示している。</p> <p><a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/e17f0d62657e2c2a0a2484aafd152930.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/e17f0d62657e2c2a0a2484aafd152930.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アルファ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 西田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/finance_202506.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/finance_202506.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2660 単位時間	1880 単位 時間	単位時間 /単位	180 単位 時間	単位時間 /単位	600 単位 時間
			2660 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		135人	1人	8人	18人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 小テストの実施や個別指導、リメディアル教育、国家試験対策外部模試、ICT教材を導入したアクティブ・ラーニング、担当教員による相談受付、面談、進路指導により、積極的な支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	1人 (5.3%)	18人 (94.7%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 施術所や病院等の鍼灸業界関連施設			
（就職指導内容） キャリア・就職支援授業（全学年対象）、企業・施設を招いての企業説明会、履歴書添削、面接指導、キャリアコンサルティング、OB・OG 就職講話、マナー講座、開業支援セミナー等			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師、きゅう師、介護職員初任者研修			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
106人	9人	8.5%
（中途退学の主な理由） 体調不良、成績不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 外部講師による中途退学者セミナーの実施、学校生活に関するアンケート調査の実施（学校生活・対人関係・学習面における問題の早期発見・対応）等を実施。悩みや不安を抱えている学生に対して、担任教員やスクールカウンセラーによる面談やフォローアップを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2798 単位時間	1952 単位 時間	単位時間 /単位	180 単位 時間	単位時間 /単位	666 単位 時間
			2798 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		109人	0人	6人	24人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 小テストの実施や個別指導、リメディアル教育、国家試験対策外部模試、ICT教材を導入したアクティブ・ラーニング、担当教員による相談受付、面談、進路指導により、積極的な支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	0人 (0%)	33人 (82.5%)	7人 (17.5%)
（主な就職、業界等） 施術所、病院、デイサービス等の柔道整復師関連の施設			
（就職指導内容） キャリア・就職支援授業（全学年対象）、企業・施設を招いての企業説明会、履歴書添削、面接指導、キャリアコンサルティング、OB・OG就職講話、マナー講座、開業支援セミナー等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師、機能訓練指導員、介護職員初任者研修			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	19 人	14.8%
(中途退学の主な理由) 体調不良、成績不振、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 外部講師による中途退学者セミナーの実施、学校生活に関するアンケート調査の実施 (学校生活・対人関係・学習面における問題の早期発見・対応) 等を実施。悩みや不安を抱えている学生に対して、担任教員やスクールカウンセラーによる面談やフォローアップを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
社会・社会福祉	福祉専門課程	介護福祉学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1880 単位時間	1310 単位時間	120 単位時間	450 単位時間	単位時間 / 単位	単位時間
			1880 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	57人	3人	3人	14人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 小テストの実施や個別指導、国家試験対策外部模試、ICT教材を導入したアクティブ・ラーニング、担当教員による相談受付、面談、進路指導により、積極的な支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	1人 (3.6%)	26人 (92.9%)	1人 (3.6%)
（主な就職、業界等） 介護福祉施設（シルバータウン相模原特別養護老人ホーム、高齢者総合福祉施設 みぎわホーム、介護老人保健施設グリーンヒルズ相模原 等）			
（就職指導内容） キャリア・就職支援授業（全学年対象）、企業・施設を招いての企業説明会、履歴書添削、面接指導、キャリアコンサルティング、OB・OG就職講話、マナー講座、開業支援セミナー等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士、レクリエーション・インストラクター資格、福祉用具専門相談員、普通救命技能認定証、認知症サポーター、福祉住環境コーディネーター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	6 人	10.0%
<p>(中途退学の主な理由)            学力不振、心身の不調、進路変更 等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)            外部講師による中途退学者セミナーの実施、学校生活に関するアンケート調査の実施            (学校生活・対人関係・学習面における問題の早期発見・対応) 等を実施。悩みや不安を抱えている学生に対して、担任教員やスクールカウンセラーによる面談やフォローアップを実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	こども保育学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2000 単位時間	1470 単位時間	120 単位時間	380 単位時間	単位時間 / 単位	30 単位時間
			2000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		96 人	0 人	7 人	22 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 小テストの実施や個別指導、ICT教材を導入したアクティブ・ラーニング、担当教員による相談受付、面談、進路指導により、積極的な支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	0 人 (0%)	43 人 (95.6%)	2 人 (4.4%)
（主な就職、業界等） 幼稚園（湘南みどりが丘幼稚園）、保育園（千歳なないろ保育園、株式会社こどもの森）、こども園などの福祉施設等			
（就職指導内容） キャリア・就職支援授業（全学年対象）、企業・施設を招いての企業説明会、履歴書添削、面接指導、キャリアコンサルティング、OB・OG 就職講話、マナー講座、開業支援セミナー等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格、レクリエーション・インストラクター資格、普通救命技能認定証、認知症サポーター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107 人	16 人	15.0%
(中途退学の主な理由) 心身の不調、学力不振、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 外部講師による中途退学者セミナーの実施、学校生活に関するアンケート調査の実施 (学校生活・対人関係・学習面における問題の早期発見・対応) 等を実施。悩みや不安を抱えている学生に対して、担任教員やスクールカウンセラーによる面談やフォローアップを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸学科	200,000 円	980,000 円	400,400 円	施設費 18 万円 実習費 15 万円 教材費 70,400 円
柔道整復 学科	200,000 円	980,000 円	373,300 円	施設費 18 万円 実習費 15 万円 教材費 43,300 円
介護福祉 学科	200,000 円	740,000 円	301,250 円	施設費 18 万円 実習費 8 万円 教材費 41,250 円
こども保 育学科	200,000 円	680,000 円	651,300 円	施設費 18 万円 実習費 8 万円 短期大学提携 35 万円 教材費 41,300 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページにて、自己点検・自己評価報告書を掲載している。 自己点検・自己評価報告書 <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/assessment_self_R6.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/assessment_self_R6.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校の教育活動その他の学校運営状況について、学校自ら行う「自己評価」はもとより、卒業生、有識者、企業等の役員が学校関係者評価に参画し、自己評価の結果を評価することを基本として行う。評価結果は、すみやかに公表し、学校運営の改善に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特別養護老人ホーム 施設長	2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
特別養護老人ホーム 施設長	2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
社会福祉法人 理事長	2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
保育園 園長	2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業
特別養護老人ホーム 施設長	2024 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページにて、学校関係者評価報告書を掲載している。 学校関係者評価報告書 <a href="https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/school-official-evaluation-report_R6.pdf">https://alpha-net.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/school-official-evaluation-report_R6.pdf</a>
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) アルファ医療福祉専門学校ホームページ <a href="https://alpha-net.ac.jp/">https://alpha-net.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113320900082
学校名 (〇〇大学 等)	アルファ医療福祉専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 西田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		39 人 (0 人)	34 人 (-人)	42 人 (- 人)
内 訳	第Ⅰ区分	18 人	14 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	- 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	0 人	- 人	
区分外 (多子世帯)	0 人	0 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 (0人)
合計 (年間)				42 人 (-人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	-人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-人	0人	-人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	-人	0人	-人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	-人	-人
計	-人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	-人
前半期	-人
後半期	-人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。